

教科	地理歴史	科目	日本史 A
履修条件 対象生徒	必履修 デザイン科 3学年		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の近現代の展開を、世界の動きや様々な資料への理解を深めながら学習することによって、国際社会に生きる日本人の自覚と資質を養う。 現代社会やその諸社会が歴史的に形成されたものであるという観点から、歴史への関心や歴史を学ぶ意義を考察するとともに、歴史的思考力を培う。 		
学習方法	<p>[授業]</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業では教科書（第一学習社）の内容の理解を図りながら、掲載されている地図や図表・史料等からの読み取りを行い、歴史的な事件や事象の背景や当事者となった人々の思いなどへの考察を丁寧に行う。 学習内容の定着や発展的な学習を促すため、視聴覚機器や情報機器を効果的に利用していく。 <p>[家庭学習]</p> <p>授業の予習や復習の課題として、ワークプリントに取り組みせ、学習内容の不明な点や疑問点などをワークプリントの解答・解説をとおして解消していく。</p> <p>[補習・その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> 補習は特に設定していない。 近現代史に関わる報道記事などの収集や発表なども課題として取り組む。 		
学習計画 と ねらい	<p>< 1 学期末考査まで ></p> <p>歴史と生活 序章 日本の歩みをふりかえろう 1 近代日本の形成と 19 世紀の世界 (1) 国際環境の変化と幕藩体制 (2) 明治維新と近代国家の形成</p> <p>< 2 学期末考査まで ></p> <p>2 近代日本の歩みと国際関係 (1) 国際関係の推移と近代産業の成立 (2) 政党政治の展開と大衆文化の形成 (3) 第二次世界大戦と日本</p> <p>< 学年末考査まで ></p> <p>3 第二次世界大戦後の日本と世界 (1) 戦後の政治と社会 (2) 経済国家としての発展 (3) 現代の日本と世界</p>		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○評価の観点：「知識理解」「意欲関心」「思考判断」「資料活用」の4つの観点から総合的な評価を行う。 ○定期考査は、知識・理解を偏重することなく、4つの観点が評価できるよう作問を工夫する。 ○定期考査だけでなく、課題、レポート、発表、プレゼンテーションなど生徒の主体的な活動も重視する。 ○課題の選択・設定から調査・研究を通じ、発表などに至る生徒の学習過程の全体を評価の対象とする。 ○教員の評価だけでなく、ディベートやプレゼン評価などで生徒の自己評価や相互評価を取り込むように工夫する。 <p>以上を総合的に判断して評価する。</p>		
その他			